

常任委員会 レポート



議員は、三つの常任委員会のいずれかに必ず所属し、それぞれ調査、研修を行っています。各々の研修視察で知り得たことを、今後の議会活動に生かしていきます。

調査地…島根県平田市・出雲市 調査事項…住民投票条例について 教育文化施設

八月二十二日に本町で初めて住民投票が実施されることになり、その方法について、平田市へ研修に行きました。平田市では昨年十二月に住民投票を実施していますが、説明会を百四十七回も開催し、参加者も五千人と大変多いことに驚かされました。投票率も69%と高く、住民の関心の高さを示していると感じました。

次に、出雲市の施設を視察しました。『出雲科学館』は、児童、生徒や住民の科学に対する関心を高めるため、最

新鋭の高度な学習設備を完備し、学ぶことの楽しさを教える施設で、市内の小中学校も授業で施設を使用するそうです。『ビッグハート出雲』は、市民の文化活動や交流の拠点として機能する施設で、三百程度の固定席があるホールやスタジオ、会議室、アートギャラリーなどもあり、利用者も多いそうです。両施設とも財政さえ許せば、ぜひ本町にも欲しい施設です。



建設産業

本町の海田市駅南口土地区画整理事業は、平成四年十月の都市計画決定以来、住民との合意形成に向けて努力を続けてきていますが、今後の進め方の参考にするべく、平成十六年三月に事業を凍結し、新たなまちづくりを進めている東松山市を研修しました。

東松山市では、昭和四十三年五月から三十五年間事業を進めてきました。しかし、住民の合意を得ることができず、そうかと言って中止をすることもできないという状況に陥りました。そ

ここで、事業凍結という手段を用いて、実質的に中止をし、各種の制限の解除を図り、新整備計画を進めたということでした。まったく新しい発想です。本町においても、参考にしたいと思いました。

調査地…埼玉県東松山市 調査事項…和泉町地区土地区画整理事業における これまでの経過

調査地…神奈川県箱根町 調査事項…総合保健福祉センター「さくら館」 の運営

本町では、町民の福祉の向上を図るため、(仮称)海田町福祉センターを建設中で、今年度中には完成の予定です。そこで、今後の施設の運営について研修するため、箱根町の総合保健福祉センター『さくら館』に行きました。

この施設は、保健、医療、福祉の総合的なサービスを提供する場として平成十三年十月にオープンしました。館内はすべてバリアフリーで、視覚障害者の音声誘導システムを採用するなど、弱者に優しい施設となっています。三

階には本町と同じように二十五メートルの温水プールを備えてあり、インストラクターが常駐して、水泳やエクササイズなどのレッスンも受けられるようになっていました。これは本町でもぜひ取り入れて欲しいものです。また、利用者のために町内巡回バスを走らせているなど、便宜を図っているところも見習うべきだと感じました。

福祉厚生

